回 答 書

回答日　令和８年１１月１９日

入札案件名			
質問番号	設計図書等の種類・頁・番号	質 問 内 容	回　答
1		既存の解析モデルデータはございますか。	既存の解析モデルデータはありません。 下水道施設の Shape データ等をご活用ください。
2		水理解析ソフトは何を採用されておりますでしょうか。	平成 22 年度における「内水ハザードマップ作成業務委託」においては、「InfoWorks CS」を採用いたしました。
3	公告・(3)履行期間	履行期間について、令和9年3月19日までと記載ありますが、年度を繰り越しての工期変更は可能でしょうか。	履行期間の延長は想定しておりません。
4	特記仕様書　第 2 条	特記仕様書目的に、『平成 22 年度に既往最大降雨における内水浸水想定区域図を作成している』と記述されていますが、既往流出解析モデルのソフトウェアは何でしょうか（Infoworks など）？また、貸与頂くことは可能でしょうか。	平成 22 年度における「内水ハザードマップ作成業務委託」においては、「InfoWorks CS」を採用いたしました。成果品の貸与は可能ですが、当時の解析モデルデータはありません。
5	特記仕様書　第 2 条	既往流出解析モデル、平成 22 年時点の雨水施設の整備状況を反映した 1D-2D モデル（詳細解析）でしょうか？ また、流出解析モデルに反映されている管きょは、概ね 600 ㎜程度でしょうか。	過年度では、下水道台帳情報、計画管渠情報、道路台帳側溝情報及び現場調査結果をもとに管路モデルを構築し、地表面氾濫解析は国土地理院基盤地図情報データの数値標高モデルを利用し、1D-2D モデルにて解析しております。 また、管路モデルとして側溝を含む末端管渠相当で解析を行っており、本業務においても、仕様書に記載のとおり、最小管径として末端管渠程度を想定しています。
6	特記仕様書　第 2 条	今年度業務でモデルの構築を行う管きょの概ねの延長もしくは面積をご教授頂くことは可能でしょうか。	本市の令和 7 年度末における公共下水道管路（雨水・合流）の総延長は、約 305km です。
7		『流出解析利活用マニュアル』に定められた検討項目でモデルの構の次に行う、①キャリブレーション、②現況シミュレーション、③浸水想定区域図の作成は、次年度に実施予定でしょうか。	次年度以降に実施予定です。
8	特記仕様書　第 6 条	ISO55001（アセットマネジメントシステム（下水道：管路施設））と記載ありますが、ISO55001（アセットマネジメントシステム（下水道に関するコンサルティング））と同じ認証という認識でよろしいでしょうか。	御認識のとおりです。
9	特記仕様書　第 6 条	ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の契約事務所及び事務作業場所にて取得しているものと記載ありますが、会社（本社）で取得している場合では認められませんでしょうか。	契約事務所等が本社の認証範囲に含まれていれば認めます。